

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第67号（6. 3. 8） 済生会兵庫県病院に経営状況を公開させた上で、現在地で医療提供を 継続できるよう神戸市の財政支援を求める陳情
陳 情 の 要 旨	1. 神戸市は、済生会兵庫県病院に経営状況を公開させた上で、現在 地で医療提供を継続できるよう財政支援を行うこと。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市北区 浜 本 宏
送 付 委 員 会	福祉環境委員会

2024年3月8日

神戸市会議長 坊やすなが 様

神戸市北区

浜本 宏

電話

神戸市は、済生会兵庫県病院に経営状況を公開させたうえで、現在地で医療提供を継続
を行うこと

できるよう財政支援を求める陳情

陳情趣旨

神戸市は、三田市民病院の土地代や道路整備代に莫大な市民の税金を注ぎこもうとしている。北区では1月から「神戸市に対して済生会兵庫県病院に財政支援を要望する署名」に取り組み、署名入り封筒402通が返信され、署名数は1131筆にのぼっている（3月1日付）。短期間の署名数としては異例のものであり、「打てば響く」反応が返ってきている。大切な神戸市民の税金を北区市民の気持ちに寄り添うように使ってほしい。税金の使い方に対して、市民は厳しい目を注いでいることを、神戸市当局は肝に銘じるべきである。

また、「済生会兵庫県病院の存続・充実を求める会」の済生会兵庫県病院に対する公開質問状に2月1日に回答があった。そこでは、「当院の経営状況は当院HP・ホームページ上で、または令和3年度に公開により設置された「北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会」の資料にて、わかりやすく提供しています。こちらをご覧ください。」と綴られていた。

HP上の、「3、経常収支の悪化」項目では2010年から21年までの11年間の収支が記載されているだけである。また、「4、長期借入金の返済負担」項目では30年間で76億円の負債が残債37億円になったと棒グラフで示しているのみである。このHPに対して税理士は「赤字の原因については財務諸表が公開されていないため検証できない。」「統合することで財政状態と資金繰りが良化することの根拠が不明である。単独で病院を維持した場合と三田市民病院と統合した場合のそれぞれの経営予測についても公開すべきである。」と述べている。

「財政状態、資金繰りの悪化を統合の一因として挙げるのであれば、財政状況を検証できるように財務諸表を公開すべき」と指摘している。

以上から、神戸市は済生会兵庫県病院に経営状況を公開させたうえで、現在地での存続のために直接財政支援をすることを求めるものである。

陳情項目

- 1、神戸市は、済生会兵庫県病院に経営状況を公開させたうえで、現在地で医療提供を継続できるよう財政支援を行うこと。